2021年度　名古屋学芸大学ヒューマンケア学部FD・教職FDフォーラム報告

1　ヒューマンケア学部における教職課程「内部質保証」とこれからの教員養成
―教職プロフェッショナル講座の試み、特別支援教育・意識調査を例に―

主催　ヒューマンケア学部、名古屋学芸大学教職課程研究会
協力　FD推進委員会、教職課程委員会、教務委員会、教務課、ヒューマンケア学部事務室

2　趣旨概要

令和2年度まで大学の「努力義務化」であった教職課程「内部質保証」は、「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程の実施する組織に対するガイドライン」（令和3年5月7日文科省ガイドライン検討会議）により令和4年度から「義務化」されることになった。今回は小中・特別支援学校の教育現場と教員養成の課題に精通した教育長・校長先生をゲストコメンテーターとしてお招きし、ヒューマンケア学部学科全体に関わるFD・教職FDフォーラムとして開催した。

3　日時・場所　2021年12月10日（金）受付13:10　13:30～16:12（HA301教室）

4　参加教職員数　46名…学内40名、学外6名

5　日程

13:25 総合司会・諸連絡　教務課長
13:30 開会の挨拶　ヒューマンケア学部子どもケア学科長
13:35 学長挨拶　名古屋学芸大学長
13:40 コーディネーター・趣旨説明　教職課程主任
13:55　話題提供… アンケート及び『教育実践記録集』参照。
（1）「教職プロフェッショナル講座」による系統的・組織的指導の試み
（2）特別支援教育が拓くこれからの教育の可能性―「学生の意識調査」を例に―
14:26 休憩
14:41 コメンテーター・討議
大府市教育委員会教育長、日進市教育委員会教育長、東浦町立緒川小学校長、愛知県立一宮聾学校長、ヒューマンケア学部長、FD推進委員会委員長
討議、意見交換　ゲストコメンテーターとのやり取り、感想等。
15:48 講評　副学長（教職センター長、教務委員長、教養教育機構長）

- 話題提供、コメンテーターの方々、企画・準備・参加の関係者の皆様に感謝したい。
- 「小中・特別支援教育」の現場で困っていること、「うまく機能していないこと」「新人（教員）に要望したいこと」等を中心にお話していただけるようお願いしていた。「現場で困っていること」こそ、今後の大学における内部質保証・改善の取り組みの原点。
- 「教職プロフェッショナル講座」の「成果とまとめ、反省と課題」…〝学生が「憧れ」と「現実」の狭間で怯えている状態〟という認識が今後の「系統的・組織的」な展開の一つの基礎となる。学生の関心のありかをとらえる特別支援教育の調査報告の話題提供内容は貴重、「調査のまとめと結果」と「内部質保証」に関わる課題の因果関係を深堀し少しでも明らかになると、より課題が具体的になると思われる。
- 教職課程や特別支援教育のみならず、学部全体と有機的にタイアップし、組織的に（情報共有し）やってもらえるとありがたい（略）。

16:07 閉会の挨拶　ヒューマンケア学部長
16:10 終わりに　教務課長

6　参加者アンケートから（略）

※フォーラムの詳細「学部FD・教職FDフォーラム記録」として、『資質・能力を育てる教職カリキュラム研究（教育実践記録集）第4集』（学部・教職課程研究会編2022,3）として刊行。